

県立深谷商業高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	商業科・会計科・情報処理科	R8.5.1 生徒数	(男) 379 (女) 427	計 806			
アクセス	J R 高崎線 深谷駅より 徒歩 15 分								
＜目指す学校像＞									
確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人財を育てる学校									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<p>○ 1 年次は、少人数学級編制※による指導で基礎学力をじっくり身に付ける。</p> <p>○ 2 年次以降は、それぞれの専門分野の高度な知識・技能の修得など、目標に応じたカリキュラム編成で、未来に生きる学力と高度な専門資格を身に付ける。</p> <p>※少人数学級編制は、商業科、会計科（両科合わせて定員 200 人を 6 クラス編制）で実施。</p>									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<p>○ 社会に貢献したい志と商業高校で学ぶことに明確な目標を持ち、その実現のために努力する生徒</p> <p>○ 地域、社会の発展に貢献する人材となるための、豊かな人間性を身につけようとする意欲のある生徒</p>									
＜学校行事＞									
<p>○ 1 学期…体育祭（6 月）、芸術鑑賞会（7 月）、校外 H R（遠足）（12 月）</p> <p>○ 2 学期…文化祭（10 月）、球技大会（10 月）、2 年生修学旅行（12 月）</p> <p>○ 3 学期…就職セミナー（2 月）、球技大会（3 月）</p>									
＜部活動＞									
<p>・ 野球部（R7 夏季選手権大会 3 回戦）、陸上競技部（個人種目・県大会出場）、卓球部（R7 インハイ県予選男子ダブルスベスト 8・女子団体県大会出場）、女子バレーボール部（R7 県大会出場）、バドミントン部（男子団体県大会出場）、剣道部（R7 関東大会県予選・女子団体ベスト 16）、弓道部（R7 インハイ県予選男子個人決勝進出）ソフトテニス部（ペア県大会出場）、サッカー部（埼玉県商業高校カップ優勝）、男子バレーボール部（優秀選手表彰 1 名）、ラグビー部（県予選準々決勝（合同チーム））</p> <p>・ 簿記部（R7 競技会で個人県大会優勝・団体準優勝、全国大会出場）、コンピュータ部（R7 競技会で県大会団体優勝、全国大会出場）、写真部（「視点」ヤング賞入選他）、ビジネス部（県ビジネス計算競技大会団体 3 位）、文芸書道部（全日本高校書道コンクール研究会賞他）等</p> <p>※簿記部は 39 回連続全国大会出場、コンピュータ部は 36 回連続全国大会出場</p>									
＜家庭・地域との連携＞									
<p>○ R8 自転車交通安全教育推進校、P T A 交通安全指導、「チャリンピック（自転車マナー競技会）」の参加（※R7 年優勝）</p> <p>○ 地元中学校へ出向く「高校説明会」に参加</p> <p>○ 「渋沢栄一アントレプレナーシッププログラム」の参加</p> <p>○ 深谷市内のイベントや公開講座、ボランティア団体等との連携</p> <p>○ 地域の企業と連携した「商品開発」や「起業家や若手社員との交流会」を実施</p> <p>○ 社会の進展に応じたビジネスにおける A I 活用等をテーマとした外部講師による講演</p>									
進 路	R8.3 卒業生	四大	73 人	短大	7 人	専門	102 人	就職	73 人
	傾向	<p>○ 3 年間の計画的な進路指導により、生徒ひとり一人の進路目標を確立させ、公務員、銀行等の県内金融機関、卸・小売、サービス、製造業などを中心とした企業との信頼関係に基づく多様で堅実な進路を実現</p> <p>○ 有名私立大学のビジネス系学部への指定校推薦や専門資格推薦をはじめとする大学や短大への進学や多様な進路希望に対応した専門学校等への進学を実現</p> <p>○ 就職にも進学にも対応できる深谷商業高校ならではの進路指導</p>							

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



埼玉県立深谷商業高等学校 育成方針 (生徒の成長物語)

至 誠

士魂商才

質素剛健

伝統を生かした未来に輝く人づくり

深谷商業高等学校は、県立の商業高校としては最も古い創立100年を超える歴史と伝統を誇り、校章の白線一本は、「一商」県立第一商業高校を示します。約27,000名に及ぶ卒業生が、各界・各分野で活躍しています。

そして、社会に貢献できる豊かな人間性と、現代のビジネス界で活躍するために必要な最新の知識・技術の習得により、将来にわたって輝き続けることのできる人づくりに取り組んでいます。



深商記念館「二層楼」

1年生

自ら考えて行動し、基本的な生活習慣を確立して充実した高校生活を過ごす。

2年生

進路に対する意識を高め、より広範で高度な資格の取得を目指す。

3年生

自覚ある行動を通して、社会性・人間性・教養を養い、深商生としての矜持をもって、自らの進路希望を実現する。

スペシャリストの育成

社会で活躍するために必要な第一の道具は、自分で考え、問題を解決するための学力です。本校では、この**確かな学力**を身に付けるとともに、産業で即戦力として活躍するための**高度資格**の取得を目指します。

資格は、即戦力としての力を将来にわたって証明する人生のパスポートとなえます。本校では、簿記・コンピュータ・英語などたくさんの資格試験を実施し、各種1級の取得率は、**県内で断然トップの実績**をあげています。高校時代に大卒レベルの高度な資格を取得し、各分野の専門家として活躍している人材を多く輩出しています。

進路実現達成100%

本校の資格取得や職業人としての豊かな人間性の育成の成果は、進路実績にも表れています。

就職では、地元企業から多くの求人が寄せられ、内定率100% (学校斡旋) を達成しています。

また、**進学**でも、商業科目等の高度資格取得は高く評価され、大学や短大、専門学校への推薦入学などに資格を生かした進路実現が可能です。

未来に生きる学力と資格

本校の校訓は、深谷市出身で近代日本の資本主義の父といわれた渋沢栄一翁が大正11年に来校された折に揮毫された「**至誠**」(何事にもまごころをもって尽くすこと)「**士魂商才**」(常に道徳を根底とし、社会を豊かにすることのできる商業の才能を持つことが大切)の教えに基づいています。

本校では、この校訓を、変化の激しい現代にあっても、社会に貢献する人材の持つべき基本的な精神として受け継ぎ、現代のビジネス社会において活躍できる最新の知識・技術と、社会の発展に貢献できる豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を使命としています。